

学会参加を考える

熊澤光生*

麻酔関連学会・研究会への参加を許す周囲の状況が厳しくなってきた。

当山梨医大麻酔科では、春の麻酔科学会と秋の臨床麻酔学会々期中は、緊急麻酔以外は受けないこととして、要員以外のほとんどのスタッフは学会へ参加してきた。これに対する風当たりが強くなり、特に春はゴールデンウィーク、外科系各科関連学会、それに麻酔科学会が続き、手術のできる日が短くなるとの不満から圧力がかかってくる。これに対しては、「我々はせめて春秋2回の学会に出て勉強して、時代に遅れない全国水準並の麻酔を提供するように、努めているのです。これは外科の先生方のためだけでなく、患者に対する我々の責務だと思っています。麻酔科学会も臨床麻酔学会も約3年前には会期が決まっていますので、それにあわせておたくの学会を開くようにされてはいかがでしょうか。」と応えるようにしている。国立大学が独立行政法人化されると、手術場の効率的運用のために、すべての春の学会はゴールデンウィーク中にやりなさいとにでもなるのであろうか？

麻酔関連学会・研究会は、なんと40を超えるほど存在する。(末尾、追記参照) 3年前地方会を主催した時に、会長講演として、「地方会の意義を考える。・・・麻酔関連学会、研究会に関する一考察」を述べた。その要旨は、「会があまりに多すぎる、整理、統合すべきであるが、障壁が多い。」であった。

その後、事情は変わっていない。会の数はむしろ増えている。先日出席したある学会では、参加者は少なく、しかもその平均年齢がきわめて高いと見受けられた。小生も還暦を迎え他人のことを

云える立場ではないが、見渡すと聴衆は頭の毛が薄い人がほとんどであった。老いたる頭脳に鞭打って新知見に聞き入る姿は、健気(けなげ)であり、賞賛に値する。しかし、もっと多くの若い人たちがこの講演を聞いたら、どんなにか社会に貢献するであろう、実にもったいないことだとつくづく感じた。

多くの若手研修医に、会への参加を促すことは、現状では難しい。余裕ある人数で麻酔を請け負い、交代で自分の興味のある研究会へ自由に参加できる施設は、皆無といってよかろう。これへの解決策として私は二つの案を、提出したい。

一つは、会を土日に行うこと。二つ目は、会をできるだけ、併行開催すること、である。土日に行うことには、会場の借り賃が高い、との反論がなされるが、大学の講堂その他公共施設で行えばよい。日曜夜に会から帰ってきて、次の日から働くのが辛いとの反論には、それを乗り越えるだけの、魅力ある会に参加すればよい。会の主催者は参加者数など気にせず、討論内容の高さを誇る。

会の併行開催には、良い講演を同時に聴けないとの反論がしばしばなされるが、選んで聞けるのは、出かけられないより幸せだと感ずべきである。

来年の秋、小生、日本臨床麻酔学会第22回大会を主催することになったが、日米麻酔会議、日本局所麻酔学会、静脈麻酔・Infusion Technology研究会、悪性高熱研究会、術後痛研究会、PCA研究会、エピソードスコーピー研究会、麻酔・医事法制研究会を併行開催する。同じ会場内で、10月30日(水)から11月2日(土)までの4日間に行う。臨床麻酔学会の参加証を付けたものは、どの会にも入場して聴取できるように、各会長の了解を得ている。ただし、演題を発表する、あるいは抄録集、参加証明書を得たいものは、各個の会の参加

*山梨医科大学麻酔科学教室

料を払ってもらふ。目的は、多くの若い研修医クラスの方々に、こんなにも有意義な会が行われていることを、知ってもらうことにある。この試みが好評を博し、春の麻酔科学会、秋の臨床麻酔学会に、多くの関連学会・研究会が併行開催されるきっかけになることを願っている。了。

(2001年10月31日、記)

山梨医科大学麻酔科学教授

追記；私の把握している麻酔科医関連研究会・学会は、以下のである。これにさらに、麻酔科学会、ペインクリニック学会、集中治療医学会、救急医学会、には地方会がある。

麻酔科学全領域を研究・討論の対象とするもの

1. 日本麻酔科学会
2. 日本臨床麻酔学会

呼吸関連

3. 日本人工呼吸学会
4. 日本呼吸療法医学会

循環関連

5. 日本循環制御医学会
6. 日本心臓血管麻酔学会

局所麻酔、神経、痛み、ペインクリニック関連

7. 日本ペインクリニック学会
8. 日本疼痛学会
9. 日本慢性疼痛学会
10. 日本局所麻酔学会
11. 硬膜外麻酔研究会
12. エピドラスコピー研究会
13. 術後痛研究会
14. PCA 研究会
15. 日本神経麻酔研究会
16. 電気刺激療法研究会
17. 日本レーザー治療学会

輸液・輸血・代謝・血液浄化関連

18. 日本自己血輸血学会
19. 日本血液代替物学会

20. 日本輸血学会
21. 急性血液浄化研究会
22. 体液・代謝管理研究会

麻酔の作用原理

23. 麻酔のメカニズム研究会

麻酔の副作用

24. 悪性高熱研究会
25. 麻酔薬代謝と臓器障害研究会

モニター・コンピューター関連

26. 日本臨床モニター学会
27. 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会

薬剤、薬剤投与法、特殊麻酔

28. 日本麻酔・薬理学会
29. 日本静脈麻酔・インフュージョンテクノロジー研究会
30. 日本医療ガス学会

31. 日帰り麻酔研究会

蘇生、ショック関連

32. 日本蘇生学会
33. 日本ショック学会

小児、高齢関連

34. 日本小児麻酔学会
35. 日本老年麻酔学会

法律

36. 麻酔医事法制研究会

集中治療、救急医学

37. 日本集中治療医学会
38. 日本救急医学会

関連諸学会

39. 日本歯科麻酔学会
40. 日本手術医学会
41. 日本医科器械学会
42. 在宅医療研究会
43. 日本高気圧環境医学会

以上、抜けているもの、新しく出来たもの、すでに廃会となっているもの、名前が違っているものなどありましたら、教えてください。